



★★★おめでとうございます★★★

第31回 読書感想画 兵庫県コンクール

優秀賞 1年 C・Sさん

感想画『応える』(『やなやつ改造計画』を読んで)



一作画感想—この本を読んで一番印象に残ったことは主人公の成長です。初めは自己中心的だった主人公が、選挙を通して他人への思いやりを身につけていました。そうするなかで周囲からの評価も変わっていき、それに応えようとする主人公がとても素敵でした。そんな主人公の思いが表れているような生徒会選挙シーンを描きました。主人公の選挙ポスターを受け取る手や友人達に関連するアイテムで、周囲からの応援を表現しました。

雑誌・付録
プレゼント

同時開催

ビブリオトーク

2月3日(火)

15:40~16:20

参加者募集!

おすすめ本を紹介しよう。

感動した本を発表しよう。

『未来の夜空はどう見える?』



宇宙には銀河がたくさんあります。これらがどうやって生まれ、育ってきたのか。そして、これからどうなっていくのか。天文好き高校生二人の会話を通じて銀河の謎を紐解くと、意外と騒がしい宇宙の様子が見えてきます。

『逃げ続けたら世界一周していました』



白石あづさ/著

希望と好奇心に満ちた旅かと思いや、その真の目的は逃げること! ? イラン一家の意外な秘密にキューバの謎パーティ、アフリカで刑務所にぶち込まれ…。旅先で出会った奇想天外な価値観と、人生の「避難訓練」についてユーモアあふれる文体でつづる!

『これからの建築入門』



村松秀一/著

これからの建築をどうすればもっと楽しいものにできるのか。建築に携わりたい人にはどのような道があるのか。社会の中のリアルな建築に向き合い続けた著者が、建築を志す次世代の読者に送る新しい時代の入門書です。

『ボクは日本一かっこいいトイレ清掃員』大井朋幸/著



思いがけず町の公衆トイレの清掃業務を言い渡され、地獄絵図の便器と格闘する毎日。人生終わった…、失意のどん底から一念発起、「日本一かっこいいトイレ清掃員」を目指す。誰もが気持ちよく使えるトイレにするために奮闘する。最高にピカピカなトイレ清掃員の感動の物語。

『ことばで愛し、ことばでたたかう』



日本文学の宝石箱 持田叙子/著

自分の心に正直に生きるのだが、今よりずっとむずかしかった明治・大正・昭和時代。文学のことばは鋭く優しく、社会の見えない壁をこわし、生きづらさを飛びこえました。手紙がSNSに変わっても、ことばで考え、思いを伝える私たちに、レトロで新しいことばの宝石が、きっとパワーを与えてくれます。

『世界は進化に満ちている』



深野祐也/著

進化という現象は、なにも壮大で時間がかかるとは限らない。きわめて短期間で、しかも私たちのすぐそばで起こっていることもある。気鋭の進化学者が自身のエピソードやさまざまな事例を紹介しながら、軽快に、そして楽しく、進化学の世界に誘う。さあ、あなたも進化の旅に出かけよう!

『暁星』湊かなえ/著 双葉社



現役の文部科学大臣で文壇の大御所作家でもある清水義之が全国高校生総合文化祭の式典の最中、舞台袖から飛び出してきた男に刺されて死亡する事件がおきた。逮捕された男の名前は永瀬暁、37歳。

永瀬は逮捕されたのち、週刊誌に手記を発表はじめる。そこには、清水が深く関わっているとされる新興宗教に対する恨みが綴られていた。

『空と海と大地の言葉辞典』



神永 暁/監修

小説・マンガ・歌詞・短歌・創作活動などに使える自然のことば1129語。ひとつの言葉が、世界を変える。古典から現代文学まで。思わず目を閉じて、そのシーンにひたりたくなるような、想像力を掻き立てる状況描写。そんな人の心を震わせる表現のエッセンスになる自然に関する言葉たちを集めました。

『人間には12の感覚がある』

『動物たちに学ぶセンス・オブ・ワンダー』



五感、第六感どころではない。私たち人間は12もの〈超感覚〉を持つ。

人間の五感以外にこれほど多くの驚くべき感覚があることを、本書は意外な動物たちの不思議な感覚を通して教えてくれる

『正解のない問題集』池上彰/監修
自分らしく考え、生き抜くための
ボクらの課題編

世の中には、いろいろな価値観があるために、はっきりした答えがない「正解のない問題」がたくさんある。まだまだ問題が山積みだ。格差は仕方ない? 環境より経済? A.I.は希望? 幸せとは何か? 世の中にある問題、あなたはどう考える?

『人生がうまくいく
コミュニケーション図鑑』

神様が教えてくれた人間関係のヒント
学校、家庭、社会で必要とされるコミュニケーション能力を完全図解。僕らの「生きやすさ」をつくる人間関係の本質がつまつた一冊。友だちの数や「いいね」の数では測れない、本当のコミュニケーションについてマンガと図解で解説。

『昆虫顔面超拡大図鑑』



草思社

海野和男/写真

お気に入りの顔は、どれ? 「可愛い」「ユーモラス」「不気味」「おしゃれ」昆虫写真家・海野和男氏のテーマは「昆虫の顔」を撮ること。撮りためた新作を「超拡大図鑑」として150点の作品。とにかく地球上で最も数が多く、生き残ってきた生物は昆虫なのだから、かれらのことを知ることは重要である。